

## 7 芦屋市の市民参画・協働の取組事例

芦屋市では、市民参画・協働があらゆる形態で実施されており、一部主な取組を紹介します。

より良い市民参画・協働を目指す上では、新たな試みを含めた試行錯誤の繰り返しが必要であるという視点に基づくものであり、本計画に示す取組は一例であり、限定するものではありません。

事例を積み重ね、共有することが市民活動促進の第一歩になると考えています。

取組名	芦屋まちデザインラボ		
取組内容	楽しくワクワクできるまちに住みたい、働きたい。その思いを実現するためにどんなことをすればいいのか、どんなモノがあればいいのかを一緒に考えたり学んだりする。		
		<p><b>良かった点</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民活動に興味のある人たち同士のつながりをつくる場になった。</li> <li>・「デザイン」をキーワードに、参加者それぞれがやってみたい市民活動に必要な要素は何か？などを考える機会となった。</li> <li>・参加者同士の交流により、市民活動の考え方に広がりを持たせることができた。</li> </ul>	
			
		<p><b>学んだ点</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークショップの雰囲気づくり、ネットワーク構築に与える「場のしつらえ」の重要性。</li> <li>・全員の意見が反映できるわけではないこと。</li> <li>・行政の目指すゴールを参加者と共有することの大切さ。</li> <li>・デザイン思考による取組の発案方法。</li> </ul>	

取組名	MIYAZUKA♡PROJECT	
取組内容	市民参画とは？活躍するとはどういうことか？といったことを丁寧に考えながら、自分がしたいこと、できること、求められていることを明らかにし、生まれ変わる旧宮塚町市営住宅との交差点を見つける。	
 <p data-bbox="435 723 834 745">旧宮塚町住宅との市民活躍のためのワークショップ</p> <p data-bbox="395 768 866 824">MIYAZUKA♡PROJECT</p>	<p data-bbox="938 555 1058 577"><b>良かった点</b></p> <ul data-bbox="946 589 1348 824" style="list-style-type: none"> <li>• ワークショップにより、個人が考える様々な活動について、実現に向けてビジョンや課題を掘り下げることので、ワークショップ終了後も持続的な活動につながっている。</li> <li>• ワークショップ参加者同士がつながり、様々な活動を共に行うなど、協力し合える仲間ができた。</li> </ul>	
	<p data-bbox="938 869 1034 891"><b>学んだ点</b></p> <ul data-bbox="946 902 1348 1048" style="list-style-type: none"> <li>• 様々な意見、考え方があり、全員の意見が反映できるわけではない中での、まとめの難しさ。</li> <li>• 行政の目指すゴールを参加者と共有することの大切さ。</li> </ul>	

取組名	宮塚公園ワークショップ	
取組内容	地域により活動される公園を目指して地域の方と協議を重ね、宮塚公園活性化協議会が結成された。	
	<p data-bbox="938 1451 1058 1473"><b>良かった点</b></p> <ul data-bbox="946 1485 1348 1653" style="list-style-type: none"> <li>• 実際に利用する人たちと協議したことで、公園に愛着を持ってもらうことができた。</li> <li>• 宮塚公園活性化に向けた、イベント実施の組織として、ジブンゴト協議会が誕生し、地域主体で活動をしている。</li> </ul> <p data-bbox="938 1753 1034 1776"><b>学んだ点</b></p> <ul data-bbox="946 1787 1348 1865" style="list-style-type: none"> <li>• 地域とひとつになって取り組むことで行政だけでは生み出せないにぎわいが創出された。</li> </ul>	

取組名	<b>「こえる場！」</b> (芦屋市行政改革に係る「健康増進・全世代交流プロジェクト・チーム」)	
取組内容	地域活動を行っている企業・団体等と芦屋市がつながり、「健康増進」「高齢者の社会参加」「全世代交流」を進め、様々なアイデアを実現していく。	
		<b>良かった点</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 普段関わりのない人たちと企画を検討することで、内容の幅が広がった。</li> <li>• 苦手分野をフォローし合うことで、イベントの開催がスムーズになった。</li> <li>• 地域で活動する主体を、これまでの市民のみならず企業や団体に広げ、参画を促進したことで、従来の福祉施策のあり方に広がりを持つことができた。</li> </ul>
		<b>学んだ点</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 取組の過程で、職員が地域に出向くことや、組織横断連携、多様な主体との協働の模索といった新たな視点を獲得することができること。</li> <li>• 多様な主体が持つ社会資源やノウハウ・アイデア等の様々な資源を有効に活用できること。</li> </ul>

取組名	地域発信型ネットワーク
取組内容	だれもがその人らしく住み慣れた地域で、いきいきと安心して暮らせるまちを目指すために、各小・中学校区の各種福祉諸活動関係者による会議を結成し、地域課題を解決するためのネットワークの活用を行う。

**良かった点**

- ・小地域福祉ブロック会議をきっかけに、地域課題の解決に向けた、勉強会の開催や資源マップの作成等の取組につながった。

**学んだ点**

- ・目指したい未来の地域像に向けたビジョン型の志向が大切であること。
- ・地域の特色や現状に合わせた取組を市民・専門職・行政の協働により実施していくことが大切であること。



**芦屋市地域発信型ネットワーク**

2018. 4～

(理念) だれもがその人らしく住み慣れた地域で、いきいきと安心して暮らせるまちをめざす

